

活動報告 グローバル D&I 推進室—大阪・関西万博“ほぼ”1000 日前イベント 「Road to 2025!! TEAM EXPO FES」参加報告

梅田 純子

グローバル D&I 推進室 室長

接合機構研究部門 複合化機構学分野 教授

7月23、24日に大阪大学箕面キャンパスにおいて初めてコラボ大阪・関西万博“ほぼ”1000日前イベント「Road to 2025!! TEAM EXPO FES」が開催され、大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワークと自然科学系分野女子学生ネットワーク「asiam」が初めてのコラボを組み、小学生向けの実験教室「分光筒を作って、身の回りの光を分けてみよう。」を実施し、グローバル D&I 推進室から、植原技術職員と梅田教授が参加しました。子供 2 組と講師の女性技術職員ネットワークメンバーや「asiam」メンバーの 1~2 名が 1 つのグループとなり、1 回 1 時間程度の教室を両日とも 3 回、各回 8 人定員で行いました。就学前児童～小学校高学年までの子供が参加し、全ての回で満員となりました。まず、子供たちは講師の説明を聞きながら、夢中で黒い厚紙を切ったり好きな柄のマスキングテープを貼ったりして、分光筒を作製しました。完成した分光筒の分光シートを通して観察すると、蛍光灯の白色光は、赤・青・緑などの色が混ざり白く見えていることに気がつき不思議そうな顔をしていました。そこで、講師から光は色が分かれていることなどの説明を受けると共に、クイズに挑戦することで楽しく光の色の違いを学びました。保護者らも積極的に質問されて、普段何気なく見ている光の基本的な性質を改めて学び直されていました。終了後には、「作ってすごく楽しかった」「知らないことをたくさん知ることができた」「将来は科学者になる」など、満面の笑みで答えてくれ、作製した分光筒を大事そうに手に持ちブースを後にされました。

今回、女性技術職員ネットワークと asiam が初めてコラボを組み、子供たちに科学の面白さを体感してもらおう活動を行いました。所属、学生や教職員の枠を超えて 2 つの組織が同じ目的に向かって交流し、科学の魅力を伝えるイベントなどを通じて、未来の仲間を増やす活動を今後も続けていきたいと思えます。



当日の様子